



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成27年11月号

第6号

平成27年11月25日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

11月に入り、日ごとに寒さも増して陽だまりが恋しい季節となりました。めっきり日も短くなり、冬の気配を感じられるようになって参りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

もうじき雪の季節がやってきますが、今年度は冬期間も工事を行う予定です。雪や寒さに不慣れな職員もおりますが、事故等がないよう十分注意して作業を進めて参ります。引き続き、皆さまのご協力をお願い致します。

師走に近づき、何かと忙しい時期ですが、くれぐれもお体にはお気を付け下さい。



展望ステージから撮影
(2015.11.21)

コンクリート打設

現在、現場ではダムサイト左岸側の県道脇での端部処理工、および河床部仮排水路トンネル呑口でのコンクリート構造物の構築を行っています。

作業としましては、型枠、鉄筋の組立を行い、その中をきれいに清掃して、コンクリートを流し込みます。これを高さ1.5m程度ずつ、繰り返し積み上げていく作業です。

コンクリートを流し込んでしっかり締め固める作業をコンクリート打設といいます。

作業は、コンクリート製造プラントよりトラックミキサ車にて現地までコンクリートを運搬し、コンクリートポンプ車にて作業箇所へ圧送します。その流し込まれたコンクリートをバイブレーターでしっかりと締め固めるといった流れになります。

コンクリート打設作業は、強度のある良質なコンクリート構造物を造るうえで非常に重要な作業となります。



型枠組立の状況



コンクリート打設の状況

11月の出来事

最上町 新そばまつり

11月15日(日)に「第3回 最上町新そばまつり」が赤倉温泉のお湯トピアもがみで開催されました。当作業所も協賛させて頂き、会場にブースを出展致しました。ブースでは流水型ダムの水理模型と3Dプリンタで作製したダムサイト模型へのプロジェクションマッピングの展示を行いました。

たくさんの方々にご来場頂き、当作業所のブースにも足を止めて説明を聞いて下さいました。ありがとうございました。



現場見学会

11月15日(日)に山形応用地質研究会の皆さんが現場見学にいらっしやいました。小雨の降るあいにくの天気でしたが、展望ステージや砂防堰堤から現場を見学して頂きました。ありがとうございました。



JV職員紹介



氏名:松崎 成美(マツザキ セイビ)
役職:工事担当
出身:日本を創った長州、山口県
工事担当と派遣会社の社長の二つの顔を持ちます。
日本のラグビーシーンを変えたエディジャパンを支えた
帝京大ラグビー部OBです。お酒は濃いハイボールです。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛鳥・大場JV
連絡先:〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。